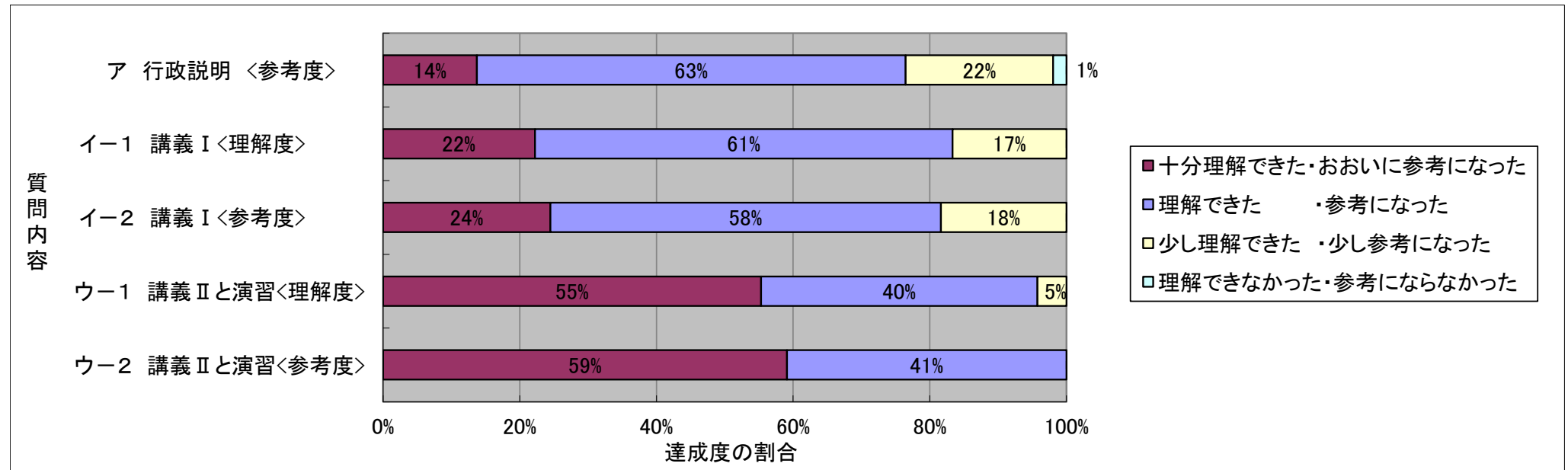


<研修内容における理解度・参考度について>

- 質問内容 ア : 行政説明「放課後子ども総合プラン，新しい研修制度等について」<参考度>  
 イー１ : 講義Ⅰ：「子供の心の発達」<理解度>  
 イー２ : 講義Ⅰ：「子供の心の発達」<参考度>  
 ウー１ : 講義Ⅱと演習：「子供への接し方」<理解度>  
 ウー２ : 講義Ⅱと演習：「子供への接し方」<参考度>



<「今回の研修を通しての感想・意見」などの記述から>

- ア ○ 放課後子供教室での経験が1年未満のため，これまで放課後子ども総合プランについて詳しい内容がわかりませんでしたが，講義を聞いて参考になりました。
- イ ○ 子供の様子をいつも見守り，子供ができないことではなく，できることを見つけていくことが大切だとわかりました。  
 ○ 児童期の心の発達はとても大切だとわかりました。  
 ○ 子供の視点で子供と向き合うことが，いかに大事か改めて考えさせられました。
- ウ ○ 「心の理論」の弱さ，「般化」の弱さ，見通しの持ちにくい子供の話を聞いて，「あの子はそうだったのね」と気付かされました。明日からの子供への接し方，言葉掛けに生かしていきたいです。  
 ○ 楽しく具体例を挙げて，わかりやすく講義してくださり大変勉強になりました。子供を「褒めて動かすこと」を心掛けていきたいです。先生から教えていただいたたくさんの実践例の中から「声の大きさ(声のものさし)」を活用したいです。  
 ○ 講師の経験談を交えての講義は分かりやすく心にすっと入ってきました。1つの考え方に捉われずに相手の話をよく聞いて解決していくことの大切さや，自閉症の児童への接し方について，詳しい話を聞くことができとても参考になりました。